

## 壁紙全点共通の注意事項

### 選択上の注意

- 素材壁紙、及び一部のビニル壁紙は施工難度が高いため、施工費が割増しになる場合があります。
- 素材壁紙は特性上、付着した水分による変色・変質が生じるおそれがあるため、水廻りなどの使用はおすすめしません。
- 素材壁紙は特性上、商品の色に差が生じることがあります。

### 施工時

- 下地は平滑にし変色を避けるため、シーラー処理は必ず行ってください。特にコンクリートや合板下地の場合、水やアクを防ぐためシーラー処理は重要です。
- パテは下地材と同色のものを使用してください。厚みが薄い商品や色の白い商品には特に注意が必要です。
- 石膏ボード表面層を切り込まないよう下敷きテープを使用してください。切り込みは目スキの原因となります。
- 施工中、施工後とも、冷暖房などによる急激な乾燥は避けてください。目スキの原因となります。
- 折りジワについて注意文がある商品は、取り扱いに注意が必要です。折りジワが付くと修復出来ない場合もあります。詳しくは、見本帳P.75「折りジワについて」をご確認ください。
- オープンタイムは温度や湿度に影響を受けますので、現場環境に合わせて調節してください。
- 3巾施工以降のクレームはお受け出来ない場合があります。

### 施工後

- 直射日光が当たると、紫外線により色褪せがしやすくなります。カーテンなどで直射日光を避けるよう心掛けてください。

## 織物・紙布 共通の注意事項

### 選択上の注意

- 素材の特性上、ジョイント部に色差や目曲がりが生じることにより柄が合わないことがあります。
- 水が直接かかる場所への使用は避けてください。表面に汚れが付着すると、取り除けない場合があります。
- 織物・紙布壁紙に表記のリピートは標準寸法であり、誤差が生じます。

### 施工時

- 糊は濃いめに、塗布量は多めにして相剥ぎを防いでください。
- 表面に糊が付着しないようご注意ください。表面に糊が付着した場合は、すぐにきれいな布で軽く拭き取ってください。
- 糊付け後は折りジワが付かないように大きなたたみ、重ね置きはしないでください。
- 撫で付けは柔らかい刷毛を使用してください。金ベラや硬いローラーは使用しないでください。
- 出隅の撫で付けや入隅の押し込みは丁寧に行ってください。
- 鋭い薄刃のカッターを使用してください。
- カッターの刃は15～20°の角度を保ってカットすると、繊維が毛羽立たず比較的きれいに仕上がります。
- 重ね切りする際は、長定規を使用してください。面でしっかり押さえることで壁紙の伸び・タルミが発生しにくくなり、乾燥した後の目スキ防止になります。